啓伸塾便り

2月（如月）きさらぎ
February

岐阜県羽島郡笠松町上本町三六
啓伸塾
塾長　福井　伸次
TEL（〇五八）三八七-四五〇九

こうと決めたらやり抜く心

湯川　秀樹

大学教授のお父さん、お母さん、ふたりのお兄さんのほか一家十二人の大家族に育った秀樹は、おさないころから本と勉強に親しむ毎日を送りました。

五歳のころ、漢字で書かれた中国の「論語」をおじいさんに教わると、意味こそわからないものの必死で覚え、空で言えるようになりました。

「この子はなかなか覚えが早い。それに一度始めたら最後までやり通すがまん強さがある」まわりの大人はそうほめましたが、秀樹自身は木々の間からこぼれ出る太陽の光をながめているほうが。ずっとふしぎに思えて好きでした。

ある夜のこと。お父さんが書斎で大声を上げています。
「本棚にあった、わたしの本をどこへやった！明日授業で使う大切な本だぞ！」
「誰もお父様の部屋へは入っていませんが・・・・・」
お母さんが子どもたちを見ると、お兄さんたちもうなずきました。「秀樹、「お前はどうだ。最近よく私の本をさわっているだろう！」もちろん秀樹も知りません。でもあまりにもお父さんが怒るので、何も言えなくなってしまいました。
（なんでお父さんはぼくを疑うんだろう）

「さぁ、どこへやった。早く言いなさい！」
「ぼく・・・・・言わん」
「また秀樹の強情っぱりがはじまったか。もういい」
あきれたお父さんは、きょろきょろあたりをさがしていましたが、急に苦笑いをし始めました。

「あったあった、昨日、わたしがここへ置いたんじゃないか。秀樹、疑ったりして悪かった。すまんな」疑いが晴れ、秀樹は胸をなでおろしたのでした。

秀樹は小学校で算数、中学校で物理の楽しさに気がつくと、学者を目指すようになりました。

「ねえ、兄さん。ものを半分に割っていくと、最後はどうなるんだろう？」
「分子になるのさ。分子が一番小さいんだ」
「分子は割れないの？」
「ああ、割れない。学校でそう習ったからね。」
「僕は割れるような気がするな。」
「な、何を！このわからずや」

秀樹とお兄さんはけんかになりました。でも秀樹はぜったいに割れる気がしてならないのです。その思いがのちに、大変大きな発見へとつながるのでした。

中性子論で日本人初のノーベル賞

湯川秀樹は１９０７年に生まれました。子どものころから優秀で、京都帝国大学（今の京都大学）を卒業すると、原子の研究に打ちこみます。

そのころはすでに分子より小さい原子と、それを構成する原子核が発見されており、やがて原子核は陽子と中性子でできていることがわかりました。

秀樹は、このふたつの間を行き交う中周子の存在を論文で発表し、１９４９年にノーベル物理学賞を受賞しました。

また、この研究が戦争で使われることを憂い、核兵器廃絶のための平和運動にも力を注ぎました。

小学生のみなさんへ

小学６年生のみなさんは、いよいよこの春から中学生になります。中学では、勉強が今の何倍も難しくなります。

特に算数は、数学に変わり、小学校での学習の、さらに高度なことを学習します。学校では、その準備として、まとめのテストを行い小学校の学習の復習を行っていることと思います。

塾では、特に中学で重要になってくる単元を重点的に復習していきます。とにかく、わからないことをそのままにしないようにしなければなりません。最低限度、小数・分数の計算は、確実に出来るようにならなければなりません。

このような練習をして習熟できる勉強は、ご家庭で保護者の方にやっていただきたいと思います。家庭学習の習慣があるかないかが、中学での勉強のカギになります。小学校では、授業さえしっかり聞いていれば、テストで高得点を取れますが、中学では、家での復習なくして、テストで思うような点数を取ることはできません。

中学での学習法については、別の機会に詳しくご説明するつもりです。６年生以外の小学生のみなさんも、今の学習が中学へ続き、高校入試にもつながっていることを理解していただきたいと思います。

ですから、算数以外の学校のテストもしっかりとやり直しをしてください。問題を繰り返し解くという学習法が、中学での勉強法では大切になります。「できなかった問題をできるようにする」このような学習姿勢を小学校のうちから身に付けましょう。

２月の予定

２日（土）中１・２学年末テスト対策（9時３０分～１２時）
３日（土）中１・２学年末テスト対策　午前・午後

９日（土）・10日（日）中 1,2　岐南中・聖徳附属中のみ
※すでに、詳しいご案内の文書をお渡ししています。自宅で勉強できない子は特に参加してください。

１１日（月）建国記念日は、通常通りの授業を行います。

２日・９日・16日・23日いずれも土曜日　中３年入試対策講座

※１月に、新年度についての確認の文書をお渡ししています。ご確認ください。

新年度についての確認の文書のご提出は、２月８日までとさせていただいております。誠に勝手ではございますが、よろしくお願いいたします。また、小学生中１・中２のお子様は、保護者懇談の方も、よろしくお願いいたします。重ねてお願い申し上げます。